

市長直轄事業「せと赤津工業団地事業」失敗！！ 市長、職員だれも責任とらず、

責任の一端を担う、担当部長に至っては、妻が選挙管理委員（報酬年額 228,000 円 / 会議開催年 4 回・約 8 時間）に就任（平成 20 年 12 月議会）
（法的に問題ないが選出方法に疑念あり、選挙を司るであろう幹部職員の妻が選挙管理委員（瀬戸市では幹部職員の妻就任は前例なし。）私物化の予兆か？）
「せと赤津工業団地」事業費 1 億 5 千 7 百万余円支出済み、この金額には、人件費は含まれてません、
含めると **2 億円超**の棚上げか？

◎平成 20 年 12 月議会にて、某議員が市長責任追及するも、市長答弁せず。
議会、議長もそれを容認＝市長、議会軽視＝議会の存在感の喪失

その結果「市長、担当職員」の責任問われず！！

民間なら事業失敗は、最悪倒産ですよ、市役所は責任無しで幕引き？

行政を監視するのが市議会議員の仕事です、瀬戸市議会は、市長：職員の責任無しと判断！
おかげで、「市長、担当職員」おとがめ無し！！ 貴方の判断は？

政治家の常道は、重責を感じ、誰から言われるまでもなく、自身で減給を申し出ることです。
責任放棄市長、行政責任を追及できない議員では、税金の無駄使いにストップが出来ません。

☆ ☆ ☆ **実 績** ☆ ☆ ☆

以前の私企業への用地代支払いに絡み **1 億 6 千万円の損害**の時も、「市長、職員」責任なし？

平成 19 年度
議会費に、 **3 億 1 千 6 百万余円**（議員数 28 名）
職員人件費に、 **7 3 億 2 千 7 百万余円**（職員数 821 名）
退職金に、 **1 1 億 6 千 6 百万余円**（退職者数 47 名）

箱物
建築費 瀬戸市の 40 億 9 千 2 百万余円、
パルティエ瀬戸の 18 億 5 千 9 百万余円 **合計約 60 億余円**
年間維持費 瀬戸市の 2 億 1 千 7 百万余円、
パルティエ瀬戸の 1 億 1 千 7 百万余円 **合計約 3 億 3 千 5 百万余円**（毎年）
万博瀬戸会場造成、整備に **約 4 億 8 千 2 百万余円**

身の丈にあった税金の使われ方で、市民生活にも胸を張って責任を果たしている、
が、全国 5 位 **県下 1 位の高額給与を再考せず、** 市民所得県下 4.5 位 **市民生活低迷を放置の現状に、文句あり！**
なら税の使い方に文句なし、

2 市 1 町共同給食センター建設、瀬戸市リーダーシップ発揮できず頓挫（瀬戸市の影響力凋落）、
責任者の前助役、第三セクター市場関連会社、社長に平然と天下り、市民の苦境なんのその

市政を変えないと将来に禍根を残すと、強い危機感を感じています。
危機回避の一つの手段は、 市民には無策、市長、職員 & 議員には好待遇確保
「無策の市長」、「無策を許す市議会議員」の交代です。

定光寺にある県の労働者研修センター（サンパレア）を無料の美名の元、
瀬戸市で引き受け、結果「億単位と予想される維持費」の支出にも瀬戸市税が使われてしまいます。
このままの市政を放置すると、市長（職員）提案の議案は「素通り」です。
相変わらず、市民生活無視で「税金の垂れ流しに歯止めがかけられません。」

瀬戸市民の皆さんの“気づき”で変えられます。
市民生活向上への政策変更（チェンジ）は、
瀬戸市民の意志、貴方の意志が握っている！

市民の皆さん自身が市長、議員などを利用した利益誘導と決別し、良心に沿った市政を真に
求められるならば、瀬戸を本当に住みよい所に変えることができます。